

No.117
2014
Summer

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication



CONTENTS

八戸工業大学

- p2-3 学生チャレンジプロジェクト公开发表会／折り紙商品化・ロシア太平洋国立大学と合意調印・東京オリンピック大学連携協定締結・PV「YouTube」に・新入生オリエンテーション
- p4-5 卓球部春季リーグ戦Ⅰ部優勝・作品展／個展開催・体育祭・五月展・「picot」委嘱・防災絵本作・ポップスコンサート・資格試験合格者
- p6-7 名誉教授・小学校教科書に採用・表彰・教員免許更新講習・就職懇談会・公開講座・進学相談会・保護者懇談会・同窓生の集う会・行事予定・工大祭・オープンキャンパス・入試日程
- p8-9 **カラーページ「高総体」**

八戸工業大学第一高等学校

- p10-11 高総体を振り返って・高総体優勝種目一覧・親子学習会・企業訪問・クリーン白銀・志学寮歓迎会・卒業生教育実習・近藤陽子選手オリンピック報告会

八戸工業大学第二高等学校

- p12-13 高総体・高総体ポスター最優秀賞・ボランティア活動・カレッジ／美術コース「清掃奉仕活動」・情報ビジネスコース「検定」・美術コース「日本画講習」・同窓会開催

さくら幼稚園

- p14-15 うんどうかい・卒園児からのメッセージ・ようちえんってこんなところ・とらんぼりん

- p16 理事会・評議員会

「学生チャレンジプロジェクト事業」 公開発表会

5月19日、昨年度創設された本学の助成事業「学生チャレンジプロジェクト事業」の公開発表会が、AVホールで行われた。



この事業は、学生のグループが自発的な発想で身近な課題に取り組み、その成果を社会に還元することを目的とした学生らの活動にかかる費用を助成しようというもので、昨年11月、6件のプロジェクトが選ばれた。今回の発表会は、それらプロジェクトの成果発表会で、最も優れた活動を行ったプロジェクトを選び表彰を行った。

発表は、プレゼンテーション形式で行われ、藤田成隆学長を含め3名が審査員となって審査した結果、「地域の魅力発信プロジェクト～三陸復興国立公園ジオラマ制作」が、最優

秀賞に選ばれ代表者に表彰状と副賞が贈られた。

昨年度は6カ月という短い活動期間だったが、地元新聞紙で取り上げられたり、他のイベントに応募して表彰されるなど、大きな成果が上がっている。本学では、今年度も引き続きこの助成事業を実施しており、さらなる成果が期待される。

【平成25年度採択事業】（括弧の中は実施団体名）

1. 地域の魅力発信プロジェクト～三陸復興国立公園ジオラマ制作～（Team SHINYAMA）
2. 八幡馬のリデザイン（HAIYR）
3. Android アプリ制作によるコンテストへの挑戦（情報科学研究部）
4. 「復興支援プロジェクト～ Team KD」（Team KD）
5. 大学施設を活用したプロジェクションマッピング映像の制作（プロジェクションマッピング研究会）
6. 減水濃縮したヨーグルトドレッシングの開発（食品研究会）

折り紙セット「はちおり」が商品化

「学生チャレンジプロジェクト」に採択された「八幡馬のリデザイン（再設計）」から生まれた折り紙「はちおり」が、八戸市の企業「カネイリ」によって商品化され、6月下旬から同社のショップに並べられ販売されている。

この折り紙は、感性デザイン学科3年の千葉明日香さん（青森・三沢高）、五十嵐七果さん（青森・鰺ヶ沢高）、佐藤真帆さん（岩手・水沢商高）、田中悠生さん（青森・弘前工高）の4人が、横溝賢准教授の講義を契機に、地元南部地方に伝わる木製の郷土玩具「八幡馬」を折り紙で作る方法を考案し制作したものである。厚手の用紙20枚入りセットの絵柄も、実物の玩具の赤と黒を基調に4人がそれぞれデザインした。パッケージの裏側には、イラストによる折り方が書かれており、価格は740円（税別）。

4人は、7月13日に開催された「こどもはっち夏祭り」（八戸ポータルミュージアム「はっち」）で、子どもたちに「はちおり」の折り方を教えるワークショップを開催。9月にも「イオンモール下田」で開催することになっている。



ロシア太平洋国立大学と学術交流を再開 協力合意書調印

6月23日、ロシア連邦ハバロフスク市にある太平洋国立大学のイワンチェンコ・セルゲイ学長、イワンチェンコ・オルガ教授、バシヤリモア・ダナ国際交流局局長代行が来学し、教員や学生の相互派遣、研究交流などについての協力合意書を取り交わした。



本学は、同大学の前身であるハバロフスク州立工科大学と1992年に学術交流に関する議定書を交わしていたが、その後交流が進展しないままになっていた。先月5月21日、本学との学術交流再開を目的に、同大学のムシビルダーゼ・アレキサンダー副学長兼教育・社会問題担当とバシヤリモア・ダナ氏が来訪して協議を行い、今回の合意書調印となったものである。

調印式を前に、藤田成隆学長が自ら一行を学内の実験施設に案内して本学の特色ある研究を紹介し、イワンチェンコ学長らは大いに関心を示していた。調印式には、関秀廣学長補佐、工藤利治事務部長のほか青森県観光国際戦略局の方々も同席し、イワンチェンコ学長から「この交流によって両国民が一層近いものになるだろう」、藤田学長から「教育、学術交流の面で両大学が発展することを期待している」と挨拶があった。今後は、10月末に藤田学長らが太平洋国立大学を訪問し、更に具体的な内容について協議することになっている。

大学連携協定を締結 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

6月23日、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の大学連携協定締結式が、東京都で行われた。締結大学は、県内は本学を含め6大学、全国で552大学。今後、大学の特色を生かした人材育成やオリンピック教育に取り組み、協力することとなる。

「恋するフォーチュンクッキー」 八戸工業大学Ver.「You Tube」にアップ

本学有志が制作した人気グループ「AKB48」のPV（プロモーションビデオ）「恋するフォーチュンクッキー」の本学バージョンが、このほどインターネットの動画サイト「You Tube」にアップされた。

このPVは、日本中の様々な団体によって“ご当地バージョン”が次々と作られ、いまや世界規模でインターネット上に公開され続けている人気のPV。本学からも元気を発信しようと藤田成隆学長をはじめ教職員、学生のグループらが参加し、ぶっつけ本番で楽しそうに踊るシーン満載の作品に仕上がった。ぜひ本学の元気な姿をご覧ください。



スタートアップをサポート 平成26年度新入生オリエンテーション

各学科の新入生オリエンテーションが、5月9日～10日、1泊2日の日程で行われた。

毎年5月中旬に学外で実施されているこのオリエンテーションは、新入生に大学生としての自覚と連帯感を培ってもらうことを目的に、全学科それぞれ趣向を凝らしたプログラ

ムで実施している宿泊研修会である。また、新入生が大学生活に必要な事柄を習得する良い機会となっており、今年も見学やリクリエーションを通して親睦を深め、新しい出会いの場となった。

機械情報技術学科

美和ロック(株)
盛岡工場、(株)
ニュートン工
場、(株)岩手ヤ
クルト工場



バイオ環境工学科

岩手県立博物館、(株)「あさ開き」工場、奥中山高原農協
乳業工場



電気電子システム学科

七戸道の駅、
青森県産業技
術センター、
八戸地域研究
所、浜市川漁
業協同組合



土木建築工学科

津軽ダム、「すこっぷ三味線快館」、鶴の舞橋・大溜池、
田舎館村埋蔵文化センター、城ヶ倉大橋



システム情報工学科

野田村/被災
地、普代村/
水門、田野畑
村/北山崎、
田老町/思惟
大橋、八戸市
/水産科学館
マリエント・
浜市川漁港



感性デザイン学科

えさし蔵ま
ちモール、
賢治童話村・
イーハトー
ブ館、岩手
県立美術館



卓球部春季リーグ戦男子I部優勝 団体・個人・ダブルスの三冠達成



5月16日から19日まで、「平成26年度東北学生卓球連盟春季リーグ戦」(宮城県塩釜市)に出場した卓球部が、5戦全勝で3年ぶりに春季リーグ戦I部優勝を果たし、7月3日～6日に東京都で開催された「第84回全日本大学総合卓球選手権大会団体の部」に東北第

1代表として6年連続13回目となる出場を果たした。

引続き開催された「第67回東北学生卓球選手権大会」では、男子シングルスで3年ぶりに吉野裕規さん(バイオ環境工学科4年/北海道・北見柏陽高)が優勝し、同第3位に相良友樹さん(機械情報技術学科2年/北海道・札幌龍谷学園高)が入賞した。男子ダブルスは吉野裕規さんと松浦善幸さん(システム情報工学科4年/福島・小野高)のペアが優勝。工藤瑞斗さん(機械情報技術学科3年/青森・八戸工高)と小館卓司さん(電気電子システム学科3年/青森・弘前工高)のペアと相良友樹さんと中村駿介さん(機械情報技術学科2年/青森・弘前実高)のペアが第3位に入賞した。

今回は、団体・個人・ダブルスの三冠達成という快挙だった。卓球部の更なる活躍が期待される。

第42回体育祭開催



5月22日に行われた第42回体育祭はあいにくの雨だったが、午前9時からの開会式には、多くの学生が早々に集まってきた。体育祭を主催する体育会による各競技のルールの説明が終ると、競技にエントリーしていた学生達は、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球の会場に分かれて熱戦を繰り広げた。屋外での競技は、「ドッチビー」に変更になったが、学生達は校内放送を頼りに尚志館(武道館)に集まってきて、会場は賑やかな笑い声や歓声が沸き起こっていた。午後には雨も小降りになり、屋外でのウォークラリーを最後に全競技が終了した。

体育会の大須田司会長(システム情報工学科3年/青森・八戸工大一高)は、「今年はポスターとウォークラリーの地図の看板が好評だった。来年はもっと楽しめるよう工夫し盛り上げていきたい。」と語った。

「さんかく展」を開催 感性デザイン学科の有志

5月1日から6日まで、感性デザイン学科の在學生と卒業生の有志によるアート作品の展示会が、八戸ポータルミュージアム「はっち」で開催された。この作品展



のタイトルには、「不安定な△も集まれば安定した○や□になる」という意味が込められている。開始時間早々、八戸市の広報誌を見て訪れたという女性が興味深そうに作品を鑑賞していた。有志のひとり4年生の中里瑤子さん(青森・八戸工大二高)は、「たくさんの人が見に来てくれました。大変でしたが、やってよかった」と、手ごたえに満足そうだった。

個展を開催 感性デザイン学科高橋佑輔さん

4月19日から5月6日まで、八戸市美保野の「小さな美術館ミモザ」(板垣洋子館長)で、感性デザイン学科3年の高橋佑輔さん(青森・八戸西高)が、初の個展を開いた。

「油絵&不透明水彩画展「心くすぐる幻想世界」と題した今回の個展には、高橋さんが描きためていた19点の作品が展示され、鑑賞に訪れた人々は感心したように見入っていた。高橋さんは「自分の作品をどのように評価してくれるか確かめたかった。これからも描き続けていきたい」と話していた。



文化系サークル「五月展」開催



5月26日から30日まで、文化系サークルの活動を紹介する恒例の「五月展」が、教養棟1階学生ホールで開催された。フロアに設けられたパネルやブースには、活動の様子を紹介するポスターや作品、模型などが並べられ、学生達は作品の前に立ち止まっては、興味深そうに見入っていた。

【参加団体】ARTSTECH研究部、文芸愛好会、映像研究部、建築デザイン研究会(ADL)、電創部、美術研究部、ゲーム研究部、プラモデル研究会

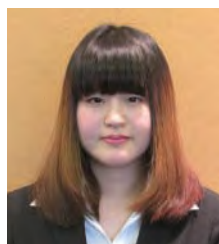
八戸警察署から「picot」に委嘱

6月5日、八戸警察署において、小・中学生の万引き・薬物使用の防止や非行からの立ち直りのための支援活動を行う平成26年度の八戸地区少年非行防止JUMPチームと、青森県少年サポートボランティア「picot」（大学生ボランティアの愛称）の委嘱状交付式が行われ、本学ボランティア愛好会のメンバー8名に「picot」の委嘱状が手渡された。委嘱されたメンバーらは、今後放課後などを利用して非行防止のためのキャンペーン活動などに取り組むことになっている。



【メンバー】 杉澤森都（システム情報工学科4年／青森・十和田工高） 下川原靖昭（機械情報技術学科4年／青森・八戸工高） 天内薪（機械情報技術学科4年／青森・木造高） 齋藤太貴（システム情報工学科4年／山形・庄内農高） 松林裕也（システム情報工学科3年／青森・三沢高） 齊藤興准（電気電子システム学科3年／青森・青森工高） 島脇大知（機械情報技術学科3年／青森・八戸北高） 松原健矢（システム情報工学科3年／青森・北斗高）

リビングスタイリスト 1級満点合格



感性デザイン学科2年の蛭名佑惟さん（青森・八戸工大一高）が、リビングスタイリスト1級の試験に600点満点で合格した。

この試験は、インテリアをはじめとする住生活商品の販売現場で十分な活躍ができるように、商品知識と販売技術を身に付けることを目的とした文部科学省が後援する資格試験である。平成25年度は、1級と2級試験が行われた。平成26年度からは3級がこれに加わる。各試験に合格するとその級のリビングスタイリストとして登録され、合格証が交付される。1級試験は在宅試験方式で行われ、2級合格が条件。蛭名さんは昨年7月の2級試験に合格して2月の1級試験に挑戦、見事満点で合格した。

外国語資格副専攻コース ～ドイツ語技能検定試験3級に合格～

昨年11月、2013年度秋季ドイツ語技能検定試験が、全国28大学を会場に行われ、本学会場で受験した電気電子システム学科3年の蛭名琢磨さん（青森・八戸工高）が、見事3級に合格した。3級合格は、独文科2年と同等の語学力と見なされており、快挙といえる。

本学では、こうした語学の検定試験を受ける学生のために、外国語資格副専攻コース（英語・ドイツ語・中国語の3コース）を設け、最終目標資格取得者として学内認定コース修了証を授与している。また、ドイツ語コース修了証書を授与された蛭名さんのほかにも、システム情報工学科2年の梅田玲奈さん（青森・青森西高）と土木建築学科2年の中里良平さん（青森・八戸工大一高）が、平成25年度中に中間段階資格を取得し、指導の成果が徐々に上がっている。

（学年は平成25年度）

防災絵本を制作

この春、土木建築工学科の月舘敏栄教授と研究室の学生らが、八戸市立小中野小学校の児童を対象に実施した「防災デザインスクール」の一環で制作した「防災絵本」が出来上がった。

同小学校は、東日本大震災で津波被害を受けた地域にあり、月舘教授と学生らは平成23年から同小学校での防災教育活動に取り組み、震災後に行った地域の現地調査を元に作った「安全点検マップ」や「避難所向けダンボールハウス作り」などの指導にあたった。この防災絵本「ゆきぐにのぼうさいえほん」は、学生らが1～2年生担当の先生方のアドバイスを受け、低学年の児童にもわかるようにと制作した手作り絵本である。また、同小学校ではこれまでの防災活動への取り組みを、2月8日に行われた環境省主催の「東北地方ESD（Education for Sustainable Development）プログラムチャレンジプロジェクト発表会大会」で発表し、応募した72団体の中から最優秀賞の「環境大臣賞」に選ばれた。



ポップスコンサート2014

6月22日、八戸ポータルミュージアム「はっち」の2階「シアター2」を会場に、システム情報工学科小坂谷壽一教授の研究室「古酒屋研究室」を中心に、本学合唱部のほか音楽好きの個人やグループによるポップスコンサートが開催された。演奏曲目は、ポップス、ロック、歌謡曲、ゴスペルまで多岐にわたり、満席の会場から大きな拍手を受けていた。



国家検定「2013年度後期技能検定試験」 2級合格者

機械保全機械系保全作業 機械情報技術学科24名

（4年） 畠舘晃平（青森・八戸工高）

（3年） 荒那由多（青森・八戸工大二高）、荒沢勇人（青森・八戸工高）、石田裕（青森・弘前工高）、漆真下陽一（岩手・葛巻高）、木村俊彦（青森・弘前工高）、久保陽拓（岩手・盛岡工高）、久保田優樹（青森・八戸工大二高）、小泉安史（茨城・日立工高）、櫻田光（青森・三本木高）、佐々木惟裕（青森・八戸工高）、佐々木裕也（岩手・盛岡北高）、下川原靖昭（青森・八戸工高）、杉浦大樹（北海道・帯広大谷高）、千葉昂平（岩手・金ヶ崎高）、中川原史康（青森・十和田工高）

（2年） 佐々木大介（青森・六戸高）、島脇大知（青森・八戸北高）、下山大輔（青森・弘前工高）、吉田朋平（青森・八戸工高）

（1年） 井澤芳樹（山形・山形明正高）、工藤悠生（青森・八戸工高）、佐藤僚太（宮城・石巻工高）、田中恭平（北海道・美唄工高）
（学年は平成25年度）

名誉教授称号授与

(平成26年4月1日付)

学校法人八戸工業大学は、4月の理事会で今年3月に退職された梅津光男前感性デザイン学科教授と村中健前バイオ環境工学科教授に、「名誉教授」の称号を授与することを承認し、6月4日、学長室において授与式が行われた。

梅津教授は、昭和18年生まれ。昭和52年に建築工学科助教授として着任され、平成9年教授に就任。専門は、住居デザイン、都市計画・建築計画。地域の各種団体の役職を歴任された。村中教授は、昭和21年生まれ。昭和61年にエネルギー工学科助教授として着任され、平成10年に教授に就任。専門は、応用物理学、環境動態解析。在職中は、総合教育センター長、異分野融合科学研究所長（現エネルギー環境システム研究所長）を務められた。

川本菜穂子さん

共同考案の科学おもちゃが「理科」教科書に採用



子どもたちに科学の面白さを体験してもらう活動をしている板柳町在住の元教員の野呂茂樹さんと本法人総合企画室主事の川本菜穂子さん（元基礎教育研究センター技師）が共同で考案した磁石を用いた科学おもちゃ「ドラミング・きつつき」が、来年度の小学3年生の理科の教科書（大日本図書）に採用されることになった。川本さんは、八戸市の市民サークル「科学であそび隊」の代表として科学教室やイベントを開催するなど、子どもたちに科学に興味をもってもらうと活動を続けている。

功績賞・学会賞

平成25年度東北支部功績賞

4月23日、本学が行っている原子力・放射線に関する地域での教育普及活動が、原子力界の発展に貢献したとして、（一社）日本原子力学会東北支部から本学に対し「功績賞」が贈られた。

電気学会東北支部「支部長賞」「優秀論文賞B」W受賞

4月22日、東北大学で平成26年度電気学会東北支部通常総会が行われ、この春、電子電気・情報工学専攻博士前期課程を修了した松ヶ崎成さん（青森県出身）の論文「球晶サイズが異なるポリ乳酸の絶縁破壊及び機械的特性」が「支部長賞」に、電気電子システム学科を卒業した草川嘉章さん（青森県出身）の論文「ポリ乳酸の絶縁破壊強度に及ぼす球晶サイズの影響」が、「優秀論文賞B」に選ばれた。

平成26年度教員免許状更新講習

本学では、文部科学大臣の認定を受け、現職教諭等を対象とする教員免許状更新講習を実施しています。平成26年度は、11月3日、8日、9日に、選択領域の講習プログラム（教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項）を対面授業形式で行います。

制度の概要、講習内容、受講申込等、詳細は本学HPをご覧ください。

第1回学生と企業との就職懇談会開催

5月29日、30日の両日、本学体育館において第1回学生と企業との就職懇談会が学部4年生や大学院2年生を対象に開催されました。参加企業は、青森県内はもとより北海道から広島まで、2日間で合計107社となりました。その中には、県警や陸上自衛隊等の公共機関も含まれています。昨年度の本学の就職内定率は95.5%と景気回復への期待が高まる中で、堅調な結果を残すことができました。これも各企業の皆様のご支援とご理解によるものと、あらためて感謝申し上げます。



昨今、職場や地域社会などで仕事をしていく上で重要となる「社会人基礎力」という言葉に示されるように、大学に対する人材育成への期待も高まっています。最近読んだキャリアデザインの本の中に、年齢段階として40代以降にプロフェッショナルと呼ばれる職業人としての高度な専門力を身に付けるためには、30代半ばまでに「対人能力」「対自己能力」「対課題能力」に加え、「処理力」「思考力」から構成される基礎力を十分に養うことが不可欠であることが強調されていました。学生諸君は、より普遍性の高いキャリアを意識し、安易なゴールを決めず短期の目標を全力でクリアしながら基礎力を磨いて下さい。そして、全員の一日も早い就職内定を応援しています。

学務部次長 阿波 稔（土木建築工学科教授）

2014八戸工業大学公開講座

※詳細は本学HPをご覧ください。

- (1) 牛乳とヨーグルトを科学しよう第1回
9月28日(日)／八戸工業大学バイオ環境工学科
- (2) サイエンスカフェ in 二戸「自然の恵み“風と太陽”を活かす!」
9月29日(月)／二戸市シビックセンター
- (3) 牛乳とヨーグルトを科学しよう第2回
10月5日(日)／十和田市（未定）
- (4) 学校の防災力を高めるための副読本と手引きづくり
10月初旬／八戸市総合教育センター
- (5) 八戸工大「秋の金曜講座」第1回
10月17日(金)／八戸ポータルミュージアム「はっち」
- (6) あべさところサイタル「感性の歌声2014」
10月24日(金)／八戸工業大学AVホール
- (7) サイエンスカフェ in 秋田「自然に学ぶエネルギーの有効利用」
10月25日(土)／秋田アトリオン（予定）
- (8) 八戸工大「秋の金曜講座」第2回
10月31日(金)／八戸ポータルミュージアム「はっち」
- (9) ロボティクス基礎講座「多脚歩行ロボットを作ろう」
11月1日(土)／八戸工業大学機械情報技術学科
- (10) おもしろエネルギー工房
11月1日(土)／八戸市総合福祉会館
- (11) 親子で作るクリスマスオブジェ
12月6日(土)／八戸工業大学感性デザイン学科
- (12) スマホアプリ作成講座
12月(予定)／八戸工業大学システム情報工学科

進学相談会スケジュール (8月以降開催分)

開催地	開催日	懇談会場	時 間
秋田市	9月2日(火)	アルヴェ	15:30~18:30
盛岡市	9月3日(水)	ホテルメトロポリタン盛岡本館	15:30~18:30
青森市	9月8日(月)	青森国際ホテル	15:30~18:30
八戸市	9月9日(火)	八戸プラザアーバンホール	15:30~18:30

問合せ先 (入試部入試課) Tel: 0178-25-8000 (直通)

平成26年度保護者懇談会日程

開催地	開催日	懇談会場	時 間
青森市	9月6日(土)	ウェディングプラザアラスカ	9:00~13:30
仙台市	9月6日(土)	ホテル法華クラブ仙台	9:00~13:30
弘前市	9月7日(日)	ホテルニューキャッスル	9:00~13:30
秋田市	9月7日(日)	大町ビル	9:00~13:30
盛岡市	9月13日(土)	エスポワールいわて	9:00~13:30
八戸市	9月14日(日)	八戸プラザホテル	9:00~14:00

問合せ先 (事務部学事課) Tel: 0178-25-8111 (直通)

八戸工業大学第14回同窓生の集う会

日 時: 平成26年10月4日(土) 17:30~

場 所: 八戸グランドホテル

〒031-0031 八戸市番町14番地 Tel 0178-46-1234

申込先: 同窓会本部事務局: dosokai@hi-tech.ac.jp

【支部総会】

関東支部総会 (東京) 平成26年9月6日(土)

東北支部総会 (仙台) 平成26年9月20日(土)

秋田支部総会 (秋田) 平成26年10月25日(土)

(詳細は八戸工業大学同窓会HPに掲載)

行事予定 8月~10月

8月 1日(金) 前期定期試験開始
 8日(金) 夏季休業開始
 9日(土) オープンキャンパス
 26日(火) 編入学・転入学(一般前期)
 28日(木) 大学院一般選抜・特別選抜~29日(金)
 30日(土) AO入試第1クール
 31日(日) オープンキャンパス

9月 15日(月) 夏季休業終了
 16日(火) 後期授業開始
 27日(土) AO入試第2クール

10月 11日(土) 工大祭~12日(日)
 オープンキャンパス~12日(日)

第42回工大祭 「COLORS」

~すべての人の、すべての色を~

10月11日(sat)・12日(sun)

オープンキャンパス2014

未来が、ここから、動きだす。

- ・開催日時 7月27日(日)・8月9日(土)・8月31日(日)
- ・開催時間 10:00~15:30 (9:30 受付開始)
- ・開催内容

学科体験・学科紹介ギャラリー・キャンパスツアー・大学周辺ツアー・サークル紹介・学生プロジェクト紹介・ガールズトーク・学食体験・大学紹介と入試説明・保護者向けガイダンス・就職関連コーナー・個別相談コーナー

※事前予約不要・入退場自由・無料送迎バス(予約制)を運行します。
 詳細は本学HPにてご案内しております。

問合せ先 (入試部入試課) Tel: 0178-25-8000 (直通)



平成27年度入試日程

工学部・感性デザイン学部

A O 入試	クール		エントリーカード受付期間	面 談 日
	第1クール		平成26年8月18日(月) ～8月22日(金)	平成26年8月30日(土)
	第2クール		平成26年9月8日(月) ～9月17日(水)	平成26年9月27日(土)
	第3クール		平成26年11月17日(月) ～11月26日(水)	平成26年12月6日(土)
	第4クール		平成27年2月2日(月) ～2月6日(金)	平成27年2月13日(金)
	第5クール		平成27年3月2日(月) ～3月13日(金)	平成27年3月19日(木)
入 試 区 分			願 書 受 付 期 間	試 験 日
推薦入試	指定校制	専門高校・総合学科	平成26年11月1日(土) ～11月7日(金)	平成26年11月15日(土)
		普通高校	平成26年11月1日(土) ～11月7日(金)	平成26年11月15日(土)
	公募制推薦入試 (他大学併願可)		平成26年12月1日(月) ～12月15日(月)	平成26年12月24日(水)
専門・一般入試	専門高校・総合学科※1		平成27年1月5日(月) ～1月26日(月)	平成27年2月5日(木)
	一般※2	前期	平成27年1月5日(月) ～1月26日(月)	平成27年2月5日(木)
		後期	平成27年3月2日(月) ～3月17日(火)必着	平成27年3月23日(月)
大学入試センター試験利用入試※2		前期	平成27年1月5日(月) ～1月30日(金)	平成27年1月17日(土)・18日(日)の大学入試センター試験 ※本学の個別試験は課さない
		中期	平成27年2月2日(月) ～2月20日(金)	
		後期	平成27年3月2日(月) ～3月23日(月)必着	

※1 学業特待生選考試験を兼ねる ※2 前期:学業特待生選考試験を兼ねる

問合せ先 (入試部入試課) Tel: 0178-25-8000 (直通)

第67回青森県高等学校総合体育大会

青森県高等学校総合体育大会
総合優勝(闘魂旗獲得)
ご声援ありがとうございました



八戸工業大学第一高等学校

闘魂旗獲得

3年ぶり19度目



団体優勝

ソフトテニス部(男女)
水泳部(男女)
レスリング部
アーチェリー部
登山部
ボウリング部
ゴルフ部



ソフトテニス部(男子) 2年連続36度目



水泳部 男子7年連続21度目 女子19年ぶり7度目



レスリング部 13年ぶり10度目



アーチェリー部 3年ぶり16度目

団体準優勝

硬式野球部
ウェイトリフティング部



ソフトテニス部(女子) 3年連続15度目



登山部 11年連続13度目



ボウリング部 2年ぶり6度目



ゴルフ部 3年連続4度目

団体第3位

バレーボール部
自転車競技部
バスケットボール部

第67回青森県高等学校総合体育大会 男子総合優勝

第二の校旗奪還

高総体を振り返って

「絆・誇り・努力 全てを力に 我らの夢へ」のスローガンのもと、「第67回青森県高校総合体育大会」（会期6月6日～9日）が開催され、県内各地で熱戦が繰り広げられた。

試合結果は、7種目を制した男子が19度目となる総合優勝に輝き、第二の校旗と自負する優勝旗「闘魂旗」を3年ぶりに奪還することができた。優勝種目は、13年ぶりに優勝したレスリング（10度目）を筆頭に、ゴルフ（3年連続4度目）、ソフトテニス（2年連続36度目）、アーチェリー（3年ぶり16度目）、水泳（7年連続21度目）、ボウリング（2年ぶり6度目）、登山（11年連続13度目）、第2位は、硬

式野球、ウエイトリフティング、第3位には、自転車競技、バスケットボール、バレーボールが入った。また、女子は19年ぶりに水泳（7度目）が、ソフトテニス（15度目）は3年連続の頂点に立った。

今回の総合優勝は、3年生の力は言うに及ばず、それに続く2年生、1年生、教職員と、八戸工大一高の総合力・底力を見せ付けたと言っていいだろう。本校の指導者の生徒達に注ぐ惜しめない愛情と自らの向上心、更には崇高な熱意に感服する。

本校を応援して下さいの皆様、ご声援ありがとうございました！

特別活動指導部長 山下 繁昌（教諭）

高総体優勝種目一覧

団体優勝

- ◆**ゴルフ** 3年連続4度目
沢上紘一(3年) 横町洸太(3年)
川崎廉(3年)
- ◆**レスリング** 13年ぶり10度目
永田丈治(3年) 西館優(2年)
田中航平(2年) 五戸晋太郎(2年)
中川原瑞樹(2年) 坂田秀生(2年)
大崎純(1年) 平野柊太(1年)
- ◆**ソフトテニス(男子)** 2年連続36度目
山村和也(3年) 工藤登生(3年)
大瀬賢治(3年) 粒来優太(3年)
佐々木勇人(2年) 西塚悠聖(3年)
勝山拓海(2年) 栗林佑輔(2年)
- ◆**アーチェリー** 3年ぶり16度目
川向秀範(3年) 上村賢一朗(3年)
高松哉太(3年) 高森和騎(3年)
- ◆**水泳(男子)** 7年連続21度目
宮本丈二(3年) 佐貫省吾(3年)
三浦晃太(3年) 原航平(3年)
千葉裕太郎(1年) 小松駿太(1年)
吉崎旭(1年) 高橋輝(1年)
- ◆**ボウリング** 2年ぶり6度目
三浦実大(3年) 深川広大(3年)
三田村将太(3年) 畑川侑太(2年)

- ◆**登山** 11年連続13度目
清川裕(3年) 細越香大(3年)
尾崎友聖(3年) 大久保直樹(2年)
田名部滉平(3年) 大阪瑠輝(2年)
田坂駿(1年) 古里祐貴(1年)
- ◆**ソフトテニス(女子)** 3年連続15度目
小向穂乃伽(3年) 石塚咲(3年)
前田風香(2年) 東 恩珠(2年)
西川真帆(2年) 中須絵理香(2年)
盛麻衣子(1年) 角地山京子(1年)
- ◆**水泳(女子)** 19年ぶり7度目
荒岡成美(2年) 古川茉采(2年)
平船真帆(2年) 中川美紅(1年)
菊池恵実(1年)

個人優勝

- ◆**水泳**
原航平 50m・100m自由形
佐貫省吾 400m・1500m自由形
三浦晃太 200m・400m個人メドレー
吉崎旭 200m自由形
高橋輝 100m・200m自由形
荒岡成美 200m・400m背泳ぎ
平船真帆 200m平泳ぎ
中川美紅 50m・100m自由形

- ◆**ボウリング**
三浦実大・深川広大(2人チーム戦)
- ◆**アーチェリー**
川向秀範
- ◆**ウエイトリフティング**
大坂優樹 69kg級
坂内拓磨 94kg級
- ◆**ソフトテニス**
勝山拓海・栗林佑輔(個人ダブルス)
- ◆**登山**
大久保直樹(山岳気象)
- ◆**レスリング**
永田丈治 グレコローマン・フリースタイル55kg級
西館優 グレコローマン・フリースタイル84kg級
田中航平 グレコローマンスタイル74kg級
五戸晋太郎 グレコローマンスタイル96kg級
関下由希 フリースタイル56kg級
榎本美鈴 フリースタイル60kg級
- ◆**自転車競技**
浅坂靖子(女子スプリント)
- ◆**ゴルフ**
沢上紘一・能登谷鈴衣

親子 学習会

4月26日、新しい試みである「親子学習会」を実施した。テーマは「インターネットの使い方・高校生の常識と非常識」と題し、弘前大学ネットパトロール隊の4人の学生を講師に、全校生徒と保護者が参加して行われた。

講師の4人は、調査結果を踏まえたデータをもとに、ネット依存、ネットのわな、ネットいじめ、有害情報、セキュリティー問題などについてプレゼンテーション形式で説明し、途中マルかバツかの質問に手を挙げて答えさせるなど、生徒だけでなく保護者も参加して理解を深めた。身近に起こり得るインターネットのトラブルの事例紹介は関心が高く、保護者のアンケートにも「インターネットの危険性がよくわかった」と好評であった。



地域への 奉仕活動

クリーン白銀

6月5日、高総体結団式に先立ち、本校恒例の清掃活動「クリーン白銀」が実施された。この活動は、学校や白銀駅およびその周辺を清掃することで、日頃お世話になっている近隣地域の方々への恩返しと、奉仕



活動を通して社会に貢献する精神と態度を養うことが目的。作業が始まると、生徒達は普段気づかないような場所にまで目をやり熱心にゴミを拾っていた。作業が終わり学校へ戻る生徒達の顔は、すがすがしい笑顔であふれていた。

卒業生 教育実習

がんばれ！ 将来の先生を目指して



八戸工業大学の鳥谷部信さん（写真右（工業・機械））と富士大学の下畑大輝さん（保健体育）が、6月30日から2週間ほど本校で教育実習を行った。二人は、授業や課外活動を通して積極的に生徒とのコミュニケーションを心がけ、一方で先生方が指導する姿を見てその大変さを痛感していたようだ。生徒達は年齢が近くて話しやすいのか、二人から大学生活の話の聞いたり進路の相談をしていた。

下畑さんは、「緊張の2週間だった。実際の授業や部活動の指導、生活指導など多くを経験させてもらい、この経験を将来に生かしていきたい。」と感想を述べていた。

3年生諸君の健闘を期待

～企業訪問からの展望～

昨年度は、東京オリンピック開催が決定し、それに向けたインフラ整備や大震災の復興工事、消費税増税前の掛け込み需要などによって就職状況は好調に推移した。求人数が大幅に増えたことで、生徒は早くに内定を決めることができたが、一方で採用を見合わせた企業も少なくなかった。今年度は、昨年度のあおりを受けたのか、7月を過ぎないと採用状況が判らないという不安定な状況が続いている。こうした中、進路指導部による関東方面への企業訪問を、4月と6月の2回実施した。卒業生が就職した企業を訪問し、仕事ぶりが高く評価されている様子を垣間見ることができた。採用予定を尋ねると多くの企業から「採用予定あり」との回答をもらい、いい感触が得られている。

本校では、進路指導部を中心に全教員が、就職を希望する生徒達への支援を行っているが、大事なのは生徒自身の積極的な就職活動への関わり方である。頻繁に進路指導室に足を運び、企業に関する情報収集を心掛けて欲しい。近年、県外への就職希望が減少し県内への就職希望が増えている。進路指導部では、自分の技能や技術を向上させ見聞を広めるためにも、県外就職も選択肢の一つに加えることを勧めている。いずれにしても、3年生はこれから夏休みにかけて就職戦線まっただ中に突入していく。いい結果が出るよう更なる健闘を期待している。

志学寮歓迎会



4月23日、志学寮において新入生の歓迎会が行われ、夢と希望に満ち溢れたフレッシュな寮生19名を迎えた。多くの先生方から差し入れやカンパを頂き、上級生による歓迎の芸と入寮生の一発芸が披露され大いに盛り上がった。最後に「志学寮から日本一！甲子園！」の合言葉を復唱し、参加した教職員から激励の拍手が送られた。

sochi 2014

近藤陽子選手報告会

5月2日、ソチオリンピック女子アイスホッケー競技に出場した本校OGの近藤陽子選手が、多忙なスケジュールの中、オリンピック報告会のために来校した。

近藤選手は壮行会や応援へのお礼を述べたあと、紆余曲折の選手生活について夢や目標を持つことの大切さ、絶対に諦めないことなどを熱く語り、生徒・教職員から労いの大きな拍手が送られた。



H26 青森県高総体

「第67回青森県高校総合体育大会」が、6月6日から9日まで青森市を主会場に開催された。本校からは12の競技に選手約350人が参加した。3年生にとっては最後の大会となるため、選手のみならず応援にも熱が入り、各会場では大きな盛り上がりを見せた。中でも男子テニス部が団体準優勝し、また個人戦ダブルスで3年生の市沢潤人君（階上中）、川村優貴君（八戸東中）のペアが、シングルの阿部凌大君（中野中）が東北高校テニス選手権への出場権を獲得した。

また、惜しくも入賞は逃したものの、自己ベストを更新した選手や、1回戦を突破した部も多く、3年間積み重ねてきた練習の成果を思う存分発揮し二高の存在感を示してくれた。



高総体ポスター 最優秀賞受賞

第67回青森県高校総合体育大会ポスターコンクールにおいて、最優秀賞に美術コース2年生の成田千夏さん（七戸中）、優秀賞に伊保内光季さん（根城中）が選ばれ、6月8日に青森市で行われた総合開会式の席上で表彰された。

最優秀賞の成田さんの作品は、アーチェリーをモチーフとしたもので、緊張感に満ちたシャープな線と、エネルギッシュな色彩、アニメタッチの画風が特徴的な作品である。人物の目線の先に的を配置し、写真では表せない臨場感が伝わる秀作であった。成田さんの作品は、ポスターの他、総合開会式プログラムの表紙を飾った。

八戸工大二高生の作品が最優秀作品に選ばれるのは、5年連続20回目となる。



2014 サイエンスサーカスツアー 日本

5月24日・25日、様々な体験型展示物の紹介や科学をテーマにしたパフォーマンスを行っている「クエスタコン（豪州国立科学技術センター）」が、開館25周年を記念して三沢航空科学館で開催し、本校から5名の生徒がボランティアスタッフとして、前日夕方からの研修会を含め3日間お手伝いさせて頂いた。

テーマは、「愉快で楽しい科学ショーを通して家族や友達とみんなで科学の不思議を体験しよう」。特別展示室には触って遊べる30種類の展示物が並べられ、生徒達はその展示物の説明役を担当した。5人は、一日中爽やかな笑顔で元気よく動き回り、プログラムマネー

ジャーのパトリックさんから「エキサレント」とお褒めの言葉をいただいた。

終了後生徒達は、「物の見方や考え方は一つではないことが分かった」「教えたつもりが教えられていた」



「小さな子供のありがとこの言葉にやりがいを感じた」「展示物への反応は十人十色だった」「スタッフの方々の緊張した打ち合わせの光景に驚いた」などと感想を語っていた。



1 学年カレッジ ・美術コース

ニコニコ クリーンアップ運動

6月14日、カレッジコースと美術コースの1年生が、合同で本校周辺や通学路などの清掃奉仕を行った。清掃奉仕は、これまで情報ビジネスコースが定期的に行っており、カレッジコースと美術コースが行うのは今回が初めてである。生徒達は、思いの外にゴミが捨てられているのを見て驚き、学校に戻って集められたゴミの量の多さにさらにびっくりしていた。活動終了後、全員で環境美化に関するレポートを作成。今回のボランティアをスタートに、様々なボランティアに取り組んでいく。



情報ビジネス コース

全商ビジネス 文書検定講習開始

「第51回全商ビジネス文書検定」に向け、情報ビジネスコース1・2年生が、それぞれの目標級での合格を目指し、6月16日の放課後から検定講習を行った。1年に2回しか行われない検定ということもあり、生徒達の表情は本番さながらのように真剣そのものだった。分からないところを仲間同士で教え合う姿も見うけられ、検定当日は全員落ち着いて臨むことが出来た。



美術コース

日本画講習

6月2日から7月4日まで約1カ月にわたり、日本画の集中授業が行われた。制作には専門的な知識と技術が必要なため、今年も青森市在住の日本画家小野定先生に指導していただいた。日本画で扱う絵具は、「岩絵具」というもので、岩を砕いてサラサラにした砂のような状態で薬瓶に入っている。描く際には、そのままでは紙に定着しないため、「膠（にかわ）」という“のり”を混ぜながら描いていく。

今年の課題は、1年生がかぼちゃなどの野菜、2年生が花、3年生は自由としたが、静物だけでなく奥入瀬溪流でのスケッチ実習で描いた絵を元に描いたり、自分で取材した題材に取り組む者もいて、日本画による多様な表現を学ぶ機会となった。



関仙 東台 同窓会開催

6月14日、第16回仙台支部同窓会が「千の庭」、6月21日、第37回関東支部同窓会が「お茶の水ホテルジュラク」を会場に、それぞれ開催された。昨年度卒業した39回生の卒業生を中心に集い、恩師や久しぶりに顔を合わせた仲間達と和やかに話をしながら過ごした。

仙台支部には角弘幸教頭先生、関東支部には阿保民博校長先生が参加して二高の近況報告をし、今後の発展にこれまで以上の力添えを頂きたいと協力要請があった。同窓生一同、母校発展に貢献することを誓いそれぞれの活動の場へ戻っていった。



うんどうかい

～年長 遊戯「RPG」～



「みんなの気持ちをひとつに…」

～年中 玉入れ～



「えーい！
いっぱい入れるぞ。」

～年少 かけっこ～



「ゴールを目指してようーい！」

「新幹線に乗って
GO!GO!」



「年少 親子ゲーム」

～八戸工業大学吹奏楽部～



「素敵な演奏と、お手伝いありがとうございました」

子どもたちにとって一学期最大の行事である運動会が、7月5日に開催された。

この日を楽しみに練習に励んできた子どもたち。練習が始まったばかりの頃は、かけっこをしても「僕が一等賞」「僕も」と言い張っていたが、練習を重ねるうちに「一等は、〇〇君だったね」と変化してきた。個人競技だけでなく、団体競技でも「負けて悔しい!」「次は負けないぞ」という勝負へのこだわりも感じられるようになった。友達と協力したり、もっと意欲を持って欲しいと思っていたので、練習の過程で培われたことが垣間見られ、嬉しくなった。

卒園児からのメッセージ

心の「ふるさと」

毎日、自宅の前で幼稚園バスを待つ小さな少年。泣きながら「幼稚園に行きたくない」と駄々をこねる少年を、先生は「ひょいっ」と抱き上げる。先生の大きな背中に体を預ける少年。すると魔法がかかったかのように泣き止み、裸足で園庭に駆け出し遊具で友達と遊び始める。そんな毎日を送っていた無邪気な幼少時代。一番のお気に入り、お日様に温められたホカホカの芝生の匂いだった。

先日幼稚園を訪問した際に昔と変わらない園内を見て、不思議な気持ちに包まれた。時が流れ、いろいろな悩みを抱え様々な壁にぶつかる日々。久しぶりの幼稚園で、大切なことに気づかされた。「自分の気持ちに素直になる」こと。こんな単純なことを忘れていた。現在大学3年生で社会人になる一歩手前にいるが、これから先きっと沢山の難題に直面することだろう。そんな時は、常に初心を思い返し生きていきたいと思う。



八戸工業大学工学部
バイオ環境工学科3年
福沢 勇斗さん
(平成11年度卒)



ようちえんってこんなところ



～年長の畑～



「僕達が植えた苗。
おいしい野菜になりますように…」

遠く足

～八戸公園三八五こども館～



「わあ～！大きなボール。
一緒に運ぼう」

～幼年消防クラブ編入式～



「消防士になりきって放水体験をしたよ！」

～交通安全教室～

「信号をよく見て渡ろうね」



とらんぽりん

～ある日の保育日誌～



年少組 5月29日(木)

天気が良かったので、子どもたちを外に連れ出した。「袋に花と水を入れて“もみもみ”すると色が変わるんだよ」と色水遊びを教えると、一生懸命揉み始めた。力が入りすぎて袋に穴が開いてしまふ子も何人かいたが、少しずつ色が変わっていくのを見て「青くなってきた!!」と興味津々の様子だった。砂場で遊んでいた子たちも、「ジュースだよ」や「ケーキだよ」と言いながら砂を型に入れて楽しんでた。今はまだ一人で遊んでいる子も多いが、これから友達とかかわりながら遊びが展開していくことだろう。成長が楽しみだ。



「皆で電車ごっこ楽しいな。
出発進行～」

年中組 5月16日(金)

今日は、参観日。朝から「今日、お母さん来るよ」と楽しみにしている子、いつも以上ににこにこ顔の子、緊張気味の子と様々だったが、それぞれ母親達がやって来るのを楽しみにしていた。参観中、皆テンションが高く母親に甘える子が多かったが、そんな中でも甘えるそぶりを見せずきちんと話を聞く子もいた。初めての参観で落ちつかない状態であったが、母親達は気にしないで自己紹介をしていた。参観が終わる母親から離すと、泣き出す子や気持ちがしばらく沈んでいた子もいた。さて、次回はどうかだろう？



「大好きなおしゃべり!! 外は気持ちいいね!!」

年長組 5月7日(水)

じゃが芋の種芋を、一人に2個ずつ手渡した。種芋から出た芽を見て「わあ、もやしだ」と言う子が多かったが、何を思ったのか「何か怖いね」と言う子もいた。畑に入ると「ふかふかしているー!!」と、はじめての土の感触に大騒ぎ。植え方の説明をしている時や他の組が植えている間も、子どもたちはおしゃべりをやめず周りの草に気を取られていた。植える番がやってくると神妙に土をかけたりしていたが、虫を見つけるとまたひと騒ぎ。気持ちはずっかり虫の方に向いていた。まだまだ集中していることができない。「大きくなりますように」とお願いをしていたが、果たしてどうなるかな…。収穫が楽しみだ。



理事会・評議員会

学校法人八戸工業大学の理事会及び評議員会が下記により開催され、審議の結果各々原案通り承認された。

◇4月25日 理事会

- ・文部科学省「子ども・子育て支援新制度」に関する件
- ・八戸工業大学名誉教授に関する件

◇5月23日 理事会・評議員会

- ・平成25年度事業報告に関する件
- ・平成25年度監査報告に関する件
- ・平成25年度決算に関する件
- ・平成26年度学費減免に関する件
- ・評議員の退任及び選任区分変更に伴う補欠評議員の選任に関する件
- ・理事の退任に伴う補欠理事の選任に関する件
- ・文部科学省「子ども・子育て支援新制度」に関する件

◇6月20日 理事会

- ・平成27年度学校法人八戸工業大学の学費に関する件
- ・評議員の退任に伴う補欠評議員の選任に関する件
- ・法人連絡協議会要綱の改正に関する件
- ・文部科学省「子ども・子育て支援新制度」に関する件